

平成28年度 盛岡まちかど森林教室 開催

平成28年10月12日（水）、当署会議室において平成28年度盛岡まちかど森林教室を開催しました。

講師として国立開発法人 森林総合研究所 東北支所より鈴木祥悟主任研究員と坂本知己地域研究監をお招きし、ご講演を賜りました。

はじめに鈴木主任研究員より「カラマツ人工林への鳥類の誘致」と題して、当署管内の姫神山国有林において長期に調査が行われた研究発表でした。

間伐前と間伐後で繁殖鳥類群集にどのような変化があるのかという調査を行い、間伐した疎林を好む種や下層植生を生息域にしている種は間伐後に増加が見られ、このような種にとって間伐が有効であるとわかりました。また、間伐によって開けた空間が鳥類の誘導にも役立っているとのことでした。



次に坂本地域研究監より「海岸林を再生するために求められた研究」と題して、海岸林の防災（飛砂害、潮風害、高潮・津波）機能や東日本大震災による被害を受けた海岸林を、より津波に強く、津波被害軽減の作用をもつ海岸林造成のための課題についてご説明がありました。また、海岸林造成だけにこだわるのではなく、海岸林近くに住む住民の生活環境として配慮するなど、まちづくりの視点も必要なことを認識することができました。

今回のまちかど森林教室は、普段あまり森林に馴染みのない方にとっても興味深い講演ではなかったかと思われました。今後も森林の持つ多面的な働きを地域のみなさまに理解して頂くための活動に森林管理署として取り組んでいきたいと思っています。